

PRAEVIDENTIA DAILY (12月29日)

昨日までの世界：ドル小反発

先週金曜は、クリスマス休日の翌日で特段の新規材料はなかったが、ドルが対円、対ユーロで小反発したのが特徴的だった。ドル/円は本邦主要統計発表前から上昇を始め、120.10円近辺から一時120.40円程度へ上昇した。その後小反落する局面も見られたが、欧米時間はドルじり高となり、一時120.46円へ上昇した。ドル底固めの面もあるが、まだ米3Q GDP最終推計値発表後の高値(120.82円)を回復しておらず、まだ明確な方向感が出ていない。本邦経済指標では、家計調査全世帯消費は前年比+2.5%と、前月および市場予想比で改善した一方、鉱工業生産は前月比-0.6%と予想外のマイナス、全国コアCPI前年比は+2.7%と前月の+2.9%から更に低下したが市場予想通りで、全体としては若干の円安材料だったと言えるかもしれない。

ユーロ/ドルは、週明け29日のギリシャ大統領選への懸念からかユーロじり安となり、一時1.2167ドルと23日の年初来安値である1.2164ドルに迫る水準へ下落した。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油Brent
ドル/円	+0.3	-0.03	+0.00	+0.03	-0.02	-0.01	+0.01	+0.3	+0.1	-1.3
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	-0.4	+0.00	+0.00	+0.00	+0.01	+0.00	-0.01	+0.0	+0.3	+0.00
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価	
ポンド/ドル	+0.1	+0.00	+0.00	+0.00	+0.01	+0.00	-0.01	+0.0	+0.3	
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.0	+0.00	+0.00	+0.00	+0.01	+0.00	-0.01	+0.3	+2.8	-0.3
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	+0.2	+0.00	+0.00	+0.00	+0.01	+0.00	-0.01	+0.3	+2.8	-0.3
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	+0.0	+0.00	+0.00	+0.00	-0.01	-0.01	+0.00	+0.3	-2.0	-0.3

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

(出所) トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油Brent
ドル/円	+0.8	+0.08	+0.09	+0.01	+0.10	+0.07	-0.02	+0.9	+1.1	-0.3
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	-0.4	-0.09	+0.00	+0.09	-0.07	+0.00	+0.07	+0.0	+0.9	+0.00
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	-0.3	-0.09	+0.00	+0.09	-0.07	+0.00	+0.07	+0.9	+1.6	-2.3
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	+0.1	-0.09	+0.00	+0.09	-0.10	-0.03	+0.07	+0.9	+1.6	-2.3
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価	
ポンド/ドル	-0.5	-0.09	+0.00	+0.09	-0.07	+0.00	+0.07	+0.0	+0.9	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	+0.2	+0.09	+0.09	+0.00	+0.07	+0.07	+0.00	+0.9	-4.1	-2.3

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

(出所) トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

## きょうの高慢な偏見：安定化のストックホルム、波乱のアテネ？

きょうの注目通貨：SEK↑、EUR↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
<b>ギリシャ議会、第3回大統領選</b>				

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

本日から市場参加者も増え始めるかもしれないが材料は少なく、ギリシャ大統領選くらいだ。ドル/円相場は120円丁度近辺は下支えされた一方、材料なしでは米3Q GDP 最終推計値発表後の高値である121円丁度近辺を超えるほどのモメンタムはなさそうで、120円台で方向感なく推移しそうだ。

ギリシャ議会での第3回大統領選では、与党のディマス候補が選出されるには300議席のうち180票の賛成が必要だが、23日の第2回投票では168票までしか増えておらず、無党派議員や民主左派からの賛成を合わせて180票に達するかは微妙だ。180票の賛成が得られ、ディマス候補が無事大統領に選出されると、Samaras 首相が提案していた2015年末の総選挙の可能性は残るが、目先の債権者との交渉は継続され、一旦の安心感、イベントリスク通過からユーロは反発するとみられるが、ECBの量的緩和導入期待もあるため反発は限定的となるだろう。他方、180票に達しない場合には来年2月初までの総選挙実施と、その場合に世論調査でリードしてきた、財政再建に反対している急進左派SYRIZA主導の政権に交代するリスクが意識され、ユーロは1.21ドル丁度を目指して下落するかもしれない。

なお、スウェーデンでは週末27日、ロベーン首相（少数与党）が12月3日に予算案を否決された後決定した来年3月22日の総選挙実施を撤回した。首相率いる連立与党と野党連合との間で、今後2022年まで、連立与党、野党連合のいずれが政権を取った場合も少数与党政権の予算案投票で棄権し、予算案を成立させることで合意が成立した。これにより勢力を増しつつある極右政党であるスウェーデン民主党の影響力を弱めることにもなり、当面スウェーデン政局が安定する可能性が高まった。政治的不安定化は今年のスウェーデンクローナのアンダーパフォーマンスの一因だったため、週明けにクローナが上昇する可能性がある（12月6日付当社週次レポート「SEK：リクスバンク・リスク」も参照）。

## ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社  
 金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第2733号  
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641